

行政事業レビュー「公開プロセス」とりまとめ結果

平成 25 年 6 月 27 日
復 興 庁

公開プロセスで取り上げた各事業に対する、外部有識者委員のとりまとめ結果は以下のとおり。

事業 番号	事業名	とりまとめ結果
1	民間資金等活用事業による東日本大震災からの復興の促進に必要な経費	<p style="text-align: center;">「事業内容の改善」 (「事業全体の抜本的改善」 0、「事業内容の改善」 4、「現状通り」 1)</p> <p>○海外制度の調査など、復興との直接的な関連が薄い事業は25年度以降は実施すべきでない。 ○市町村への更なる周知や、街づくり施策全体の中での本施策の位置づけを明確にすることなどにより、さらなる執行率の改善を図るべき。</p>
2	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業	<p style="text-align: center;">「事業内容の改善」 (「事業全体の抜本的改善」 0、「事業内容の改善」 3、「現状通り」 3)</p> <p>○事業自体の必要性は高く、引き続きニーズを拾い上げて適切な執行に努めていくべき。 ○一方で、どのようなコンセプトでこの事業を実施し、最終的に何を指すのかという全体のデザインを、今後の予算執行や予算要求の過程で検討し、行政事業レビュー等を通じてその内容を明らかにしていくことが求められる。 ○他省庁の事業との重複について整理が必要。</p>
3	東日本大震災復興ソーシャルビジネス創出促進事業	<p style="text-align: center;">「事業全体の抜本的改善」 (「事業全体の抜本的改善」 3、「事業内容の改善」 3、「現状通り」 0)</p> <p>○支援対象とすべきソーシャルビジネスがどのようなもので、産業復興支援とは何が違うのかという事業の目的・対象を再度明確にすべき。 ○そのうえで、事業の効果を図るためのより緻密な目標を設定し、事後も含めた実績把握に努めるべきである。</p>

4	農産物等消費応援事業	<p style="text-align: center;">「事業全体の抜本的改善」</p> <p>(「事業全体の抜本的改善」 4、「事業内容の改善」 2、「現状通り」 0)</p> <p>○農産物に対する信頼度等の指標を設定し、風評被害対策全体としての目標を明らかにすべき。</p> <p>○広報の手法を随時効果的な手法に見直すとともに、他事業との連携も含め、風評被害対策全体の戦略を検討することが必要。</p>
5	地域公共交通確保維持改善事業	<p style="text-align: center;">「事業内容の改善」</p> <p>(「事業全体の抜本的改善」 0、「事業内容の改善」 4、「現状通り」 2)</p> <p>○被災地においてニーズが高い事業であり、地域全体の復旧状況等を勘案しながら適切な予算執行を行っていくべき。</p> <p>○ニーズを証明する観点からも利用者数の把握など、実態を示せる指標の設定を検討していく必要がある。</p>
6	放射性物質・災害と環境に関する研究	<p style="text-align: center;">「事業内容の改善」</p> <p>(「事業全体の抜本的改善」 0、「事業内容の改善」 5、「現状通り」 1)</p> <p>○放射性研究の取組は重要性は高い一方、全体像が見えにくい印象がある。研究全体の戦略・計画を明らかにしていくべき。</p> <p>○一般会計等も含めて他の研究予算との重複の排除や連携、具体的な成果を明確にすることについて引き続き留意しながら予算を執行し、これらの点をレビュー等を通じて国民にも分かりやすく示す必要がある。</p>